

平成25年度、各地区で地域福祉保健計画の中間振り返りが行われました。引き続き様々な取組がされています。今回は大久保最戸地区の「地区別計画普及版リーフレット」の作成と、日野地区の防災をテーマに障害者の視点を取り入れた意見交換会をご紹介します。



大久保最戸地区「地区別計画普及版リーフレット」

～全戸配布で参加・協力の呼びかけ～

大久保最戸地区の地域福祉保健計画は、『一人ひとりが自分の暮らす町への興味を持とう』『安全安心の魅力あるまちづくりをすすめよう』『ハイタッチができる町を作ろう(積極的な参加・協力で「顔の見える」関係づくり)』の3つの目標を掲げています。この3つの目標について、昨年度に取組を振り返り、住んでいる地域の良さを再発見できたり、参加した住民が取組に興味を持てたといった効果が確認できました。そして、さらに計画を進めるために、平成26年3月に地区別計画普及版リーフレットを作成し、全戸配布を行いました。

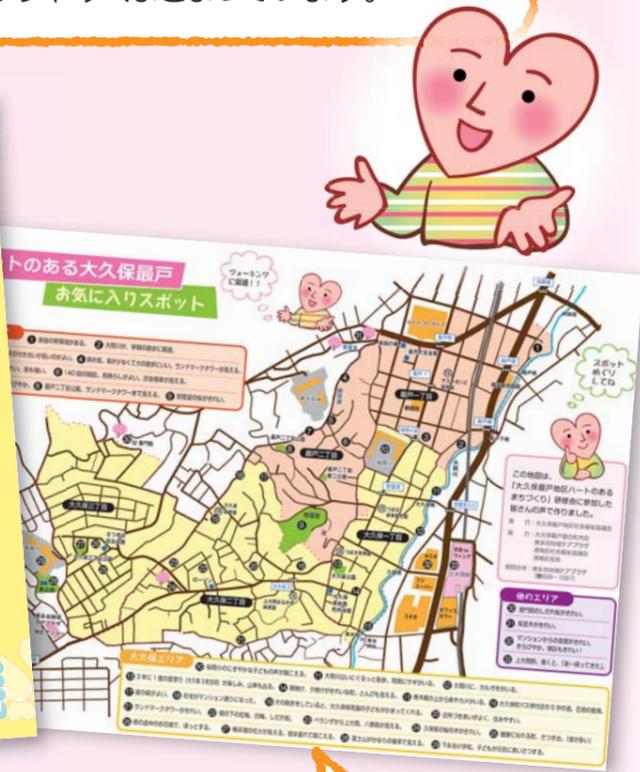


地区別計画普及版リーフレットのポイント

ポイント

1 年度ごとにわかりやすく

3つの目標と目標実現に向けた年度ごとの主な取組が紹介され、それぞれの取組の関係がわかりやすくまとまっています。



ポイント

3 まち歩きに活用

24年度に作成した、地区の見どころをまとめた「いいところMAP」も掲載。25年度からすでに3回まち歩きイベントで活用されています。

ポイント

2 初めての方が安心して参加できるように

「子育てママパパにほっとできる空間を」との思いで始まった「Heart Cafe」の紹介では、参加したママ達の声に掲載し、これから参加する人でも安心して参加してもらえる工夫がなされています。



港南区 みんなでウォーキング推進

港南区ではあらゆる世代に対して、ウォーキングを通じた健康づくり、つながりづくり、地域の元気づくりを推進しています。

今年11月からは、市のウォーキングポイント事業が始まります。

40歳以上の方が参加登録し、専用の歩数計でポイントをため、たまったポイントで景品と交換できるため、楽しみながら健康づくりに取り組むことができます。

9月から申し込み受付が始まる予定です。



港南区ウォーキング推進キャラクター「ひまわりくん」

第2期港南区地域福祉保健計画とは?

誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるように、区民のみなさん、関係団体、関係機関、行政が協力して、地域の中でお互いに支えあえる関係をつくることを目指す計画です。平成23年度から27年度までの5年間の取組の方向性を8つのテーマで示した「全体計画」と、15の連合町内会(地区社会福祉協議会)エリア毎に各地区の特性を活かした「地区別計画」で構成されています。



日野地区 「日野地域づくり意見交換会」

～防災に障害者の視点を～



日野地区では、防災や見守りなどについて率直に意見交換しながら学び合う「日野地域づくり意見交換会」を平成23年度から行っています。また、平成25年度の間隔振り返りで、「地域の福祉施設が町内会に加盟し、交流が進んだ」など取組の効果を確認し、その後も防災をテーマにした意見交換会に障害者やその家族の視点を取り入れるなど、「誰もが住んでよかったと安心するまち」を目指した取組がされています。

平成26年2月の「日野地域づくり意見交換会」では、6ヶ所の地域防災拠点の状況を伝えあい、お互いに参考になるところを吸収し、今後の訓練などに反映することを目的に、情報交換を行いました。この中で障害がある方の立場から考える防災訓練として、港南区障害者団体連絡会の早坂由美子会長からのお話がありました。



日野地区のいっとき避難場所をマップで確認



「日野地域づくり意見交換会」の様子



障害者地域作業所など、日中利用している施設では地域の防災訓練に参加しているところは多いですが、家庭では地域の訓練に参加している人は少ないのが現状です。障害者が訓練に参加しにくいのは、その家族に、「障害児・者が参加して迷惑をかけるのではないか」という思いがあるためです。地域の方が背中を押してくれることで、防災訓練に参加しやすくなります。そのためには、顔見知りになる、声をかけあえる、といった地域の方との日頃のつながりが大切と考えています。



港南区障害者団体連絡会 早坂会長

地域で活動する人物・グループ紹介 1

地域には様々な形、動機で活動している人たちがいます。

連載コラム

こうなん
この人に聞きました



畑で草取りをする吉田さん

吉田 洋市さん
地域で頑張っている
若い世代を応援したい



吉田さんが世話をしている花壇

芹が谷地区で畑づくりの活動「せりがやたがやせ」に参加されています。「せりがやたがやせ」の参加者は30～40歳代が多く、平日は皆さん仕事があり畑に来られないので、吉田さんはその平日に畑の様子を見に来られています。自分が前に出るのではなく、できる範囲で「地域で頑張っている若い世代を応援したい」という気持ちで活動に参加されています。

また、平戸永谷川流域にある花壇の中に雑草ばかりだった一画があったので、そこに花を植えて世話をされています。

吉田さんは太鼓の先生でもあり、玉興町内会館で6年前から子ども達に太鼓を教えています。太鼓教室の始まりと終わりに挨拶を行い、子ども達に挨拶の大切さも伝えています。外で出会ったときにも子ども達の方から挨拶してくれるようになりました。

挨拶の大切さも教えながら、若い世代にエールを送っています。



左から
根岸さん、鈴木さん、
山川さん



ふるさとエンデバーの皆さん
若い力で地域を活性化したい

スペースシャトル「エンデバー」がグループの名前の由来です。



上永谷中学校出身の同級生グループ。それぞれが仕事を持ち忙しく働く一方、休みの日には町内会のお祭りを手伝うなど、地域活動に積極的に参加しています。きっかけは、中学校の同窓会での再会。自分たちが育った地域を大事にし、盛り上げたいという思いが一致し、ふるさと

エンデバーを結成。初めは何から手を付けていいのかわからなかったようですが、色々調べていくうちに区民活動支援センターや地域ケアプラザのアドバイスもあり、今の活動に至っています。

現在の活動は休日に町内会や商店街の催しに参加することがほとんど。いつかは自分たちの企画でイベントを行いたいとのことで、めざすは若者が集まって盛り上がる「夏祭り」の開催。若い力で地域を活性化したいと、意気込んでいます。

次号(11月発行予定)でも、活動者・団体を紹介します。地域の活動者・団体に関する情報がありましたら、下記担当までお寄せください。

港南区福祉保健課 事業企画担当 : TEL 045-847-8441
港南区社会福祉協議会 : TEL 045-841-0256

FAX 045-846-5981
FAX 045-846-4117

Eメール:kn-tifukuplan@city.yokohama.jp
Eメール:info@kounan-shakyo.jp